

第 39 回関東産業衛生技術部会研修会

十文字学園女子大学大学院 田中茂

第 39 回関東産業衛生技術部会研修会が埼玉産業保健総合支援センターとの共催で、2016 年 6 月 1 日(水)にさいたま市民会館おおみやにて「熱中症予防のためのリスクアセスメント」のメインテーマで、参加者 123 名で開催された。講義は 3 名の講師に講演を頂き、最後は質疑応答の時間を設け、自由な意見交換（講師同士も含む）により、参加者ともに非常に有用な情報を共有することができた研修会となった。

澤田晋一先生（(独) 労働安全衛生総合研究所）は「熱中症予防のためのリスクアセスメント」と題して発表され、1. 職業性熱中症の最近の発生状況と特徴、2. 熱中症の症状と分類 3. 第 12 次労働災害防止計画の熱中症対策、4. 熱中症のリスクアセスメントの考え方についてわかりやすく解説をされた。とりわけ、リスクアセスメントの見積もりをするために採用した指標として、a. 温熱環境、b. 作業強度、c. 衣服・装備をふまえて、総合リスクの評価を行う考え方を教わった。更に、先生が監修したビデオ（リスクアセスメントで進める職場の熱中症対策：教配作成）を視聴した。

次に、加部勇先生（古河電工(株)統括産業医）より「企業における熱中症対策」と題して、自ら熱中症対策で取り組んだ事例として、グリーンカーテン、遮熱フィルムの効果、工場の屋根の断熱工事、直射日光を下げる特殊塗料、ミストで気化熱を利用、舗装の全自動打ち水対策、クールジャケット、ファン付き空調服等の活用など「熱中症予防対策のリスクアセスメント」の実践事例などについて紹介された。受講者には大変役立つ内容であった。最後に、田中茂より、出展にご協力頂いた興研(株)（クールブローウェア CB-1）(株)重松製作所（個人用冷却器クーレット）大塚製薬(株)（ポカリスエット、イオンウォーター）と京都電子工業(株)（熱中症指標計 WBGT-213 A/B）の製品の紹介を行った。

最後に参加者から活発に質問を頂き、大変盛り上がり閉幕した。

